

スタンダードチャータードPLC 2017年度中間決算報告

当半期決算について、当行グループ最高経営責任者のビル・ウィンターズは以下のように述べています。

「私たちは有望な 2017 年度のスタートを切り、戦略的目標に向けて着実に前進しています。昨年度より収益力が強化され資産の質が改善してきたことは、当行グループのアプローチの成功を物語っています。当行グループはますます強くなり、無駄な部分を減らし、効率を高めており、顧客と株主の皆様のためにいっそうのバリューを生み出す業績回復力と能力を持っているとの確信を持って、下半期に踏み出していきます。」

2017 年度上半期業績ハイライト

- 特別要因調整後の収益は 72 億ドルと、前年同期比 6%の増加、昨年プリンシパルファイナンス事業の損失を除くと 4%の増加を示しました。
- 特別要因調整後の費用は 48 億ドルと、昨年に行われた投資に起因する増加も一因となって、前年同期比 5%の増加となりました。
- 特別要因調整後のクレジットコストは 5 億 8,300 万ドルと、当行グループのリスク特性の改善を反映して、前年同期比 47%減少しました。
- 特別要因調整後の税引前利益は 19 億ドルと、前年同期比 93%の増加、プリンシパルファイナンス事業を除くと 36%の増加を示しました。
- 当上半期の再編関連コストは 1 億 6,500 万ドルが計上され、2015 年 11 月以来の総額は 29 億ドルに達しました。
- 税引前利益は 18 億ドルと、前年同期比 82%増加しました。
- 1 株当たり特別要因調整後基礎利益は 34.4 セント(前年同期は 14.2 セント)となりました。
- 特別要因調整後の ROE(株主資本利益率)は 5.2%と、前年同期の 2.1%から上昇しました。

資本基盤の強化と流動性の改善

- 普通株式等 Tier 1(CET1)比率は 13.8%と、当上半期の利益によって押し上げられ、2016 年末時点から 20 ベーシスポイント上昇しました。
- 2017 年 1 月に 10 億ドルのその他 Tier 1(AT1)資本証券を発行しました。
- 預貸率は 67.5%と、2016 年年末から安定しています。

- 顧客向け貸付金その他の金銭債権は、コーポレートファイナンス、トレードファイナンス、モーゲージの伸びに牽引されて5%増加しました。
- 当行グループがより質の高い流動性の創出に注力したため、顧客口座の残高は5%増加しました。

- 普通株式の中間配当は見送りましたが、取締役会は年末に検討を行う予定です。
- 当行グループは2022年を待たずに、予想される「自己資本および適格債務の最低基準」(MREL)の水準をすでに充足しています。

戦略の進捗状況

- 事業からの撤退およびフィナンシャルマーケットのボラティリティの低下にもかかわらず、収益は前下半期よりも増加しました。
- 計画通り、2017年中に追加で7億ドル、2018年にさらに4億ドルの総コスト削減を達成できる見通しです。
- 差別化できる分野への投資、および統制とプロセスの強化を継続しています。
- 全体的なクレジットの質は前年同期よりも改善し、当上半期中は安定していました。
- 当行グループの資本基盤は強化され、バランスシートは非常に流動性が高く分散化されており、業績の回復力が強まっています。

まとめと今後の見通し

- 当上半期の業績は改善し、明るい見通しが開けています。
- 当行グループの効率性とリスク管理能力は向上し、バランスシートの質も改善しています。
- 地政学的な見通しは依然として不透明ですが、経済環境は改善の兆しをみせています。
- 銀行の必要資本比率を決定する規制改革のタイミングとその行方はまだはっきりしません。
- 当行グループは顧客とあらためて向き合い、生産性を向上させ、人材とカルチャーに投資を行っています。
- 当行グループは、株主のリターン向上に不可欠な、持続的な収益成長の実現に取り組んでいます。

他の通貨が明記されている場合を除き、「ドル」または「\$」は米国ドルを指し、「セント」または「c」は1米ドルの100分の1を意味します。

日本語でのお問い合わせは下記にて承ります。

スタンダードチャータード銀行

広報部

Tel: 03-5511-1245 / Fax: 03-5511-9312

CA.Japan@sc.com

スタンダードチャータード

スタンダードチャータードはロンドン証券取引所、香港証券取引所、ムンバイ証券取引所、ならびにインド国立証券取引所に上場し、80,000名以上の行員を擁する国際的な金融グループです。世界で最も活気に満ちた市場—アジア・アフリカ・中東地域において150年以上の歴史を誇り、ダイナミックな投資や貿易、そして資産形成を行うお客様を対象に、ビジネスを展開しています。私たちのブランドプロミスである「Here for good」は、このような当行の伝統と企業価値を反映しています。

スタンダードチャータードグループHP(英語) <http://www.sc.com>
スタンダードチャータードグループfacebook(英語) www.facebook.com/standardchartered
スタンダードチャータードグループTwitterアカウント@StanChart
スタンダードチャータード銀行東京支店HP(日本語) <http://www.sc.com/jp>

将来に関する記述

本資料には、現在における予想もしくは意見、または将来の事象に関する仮定に基づく「将来に関する記述」が記載されていることがあります。かかる「将来に関する記述」は、過去に発生したまたは現在発生している事実のみに関係している記述ではない、という点で識別することができます。「将来に関する記述」には、「可能性」「予定」「期待」「意向」「推定」「予想」「意見」「計画」「試み」「継続」またはこれらに類似した意味を有する他の文言が使用されています。こうした記述の内容は、その性質上、既知または未知のリスクおよび不確実性を伴い、また、実際の結果または当行グループの計画もしくは目的がかかる記述に明示または暗示される内容と著しく相違する原因となりうるその他の要因によって、影響を受けることがあります。かかる「将来に関する記述」を受領した者は、それに依拠するべきではなく、またかかる依拠に関して十分な注意を払う必要があります。

実際の結果が「将来に関する記述」に明示または暗示される内容と著しく相違する原因となりうる要因はいくつかあります。実際の結果が「将来に関する記述」に記載される内容と相違する原因となりうる要因には、たとえば、世界、政治、経済、ビジネス、競争、市場、規制に係る力や状況、為替や金利の将来の変動、税率の改定、将来の事業の統合や売却、その他当行グループに固有の要因などがありますが、これらに限りません。

本資料に記載されるすべての「将来に関する記述」は、過去もしくは現在のトレンド、または当行グループの活動に基づくものであり、かかるトレンドや活動が将来も続くことの表明とみなされるべきではありません。本資料に記載される記述はいずれも、利益の予測を意図するものではなく、また、当年度または将来の年度における当行グループの利益が当行グループの過去のまたは公表された利益に合致またはこれを上回ることを暗示するものでもありません。それぞれの「将来に関する記述」は、当該記述の日付時点のみにおける記述です。

当行グループは、法令により求められる場合を除き、本資料に記載される「将来に関する記述」の内容が新しい情報、将来の事象その他の事項により影響を受けるか否かにかかわらず、当該記述の修正または更新を行う義務を、明示的に放棄します。

本資料に記載される内容は、いかなる法域においても、証券その他の金融商品の売買の申し出または勧誘ではなく、また、証券その他の金融商品またはその他の事項に関する推奨または助言でもありません。